The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	教育広報委員長からのメッセージ
Author(s)	菊野, 亨
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1999, 112, p. 1-1
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/66327
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

巻頭言

教育広報委員長からのメッセージ

菊　野　亨

このセンターニュースは、大阪大学大型計算機センターの教育広報委員会が編集しております。私は現在、この委員会の委員長を仰せつかって、微力ではありますが全力投球で頑張っているところであります。平成１１年度をスタートするに当たり、当委員会が関係する本年度の活動計画について報告させていただきます。

私達の社会がコンピュータシステムへの依存度をますます強くするのに伴って、コンピュータの障害によって生じる損害コストはあらゆる応用分野において増大の傾向にあります。例えば、巨大科学計算センターのように、多数のユーザに常時サービスを提供する必要のあるシステムでは、一時点にサービスが停止することは許されても、システム全体が一定時間以上停止することは絶対に避けなければなりません。一方、航空機の飛行制御のような実時間制御システムでは、停止することはもちろん、一瞬でもシステムの出力が誤ったりすることは許されません。それによって人命の危険に至る恐れがあるからです。このように応用分野によってユーザがシステムに要求するサービスの中味は異なってきます。

本センターが提供するサービスについて考えた場合、そのユーザあるいは応用分野は実に多岐にわたっています。そうしたことを考慮して、平成１１年度は次のことを予定しています。

(1) センターニュースの発行

本年度は年間３回の発行を計画しています。第１回目は本センターの利用案内特集を第２回目は最近のホットな話題の１つである「次世代インターネット」特集を、第３回目は平成１１年度の「速報」の主な記事の特集を中心にまとめます。

なお、「速報」のほうは、まさに即時性を重視して例年どおりに、毎月１回の発行を予定しています。

(2) 利用者講習会の開催

本年度も前期（5月、6月）と後期（10月、11月）の２回に分けての開催を計画しています。

なお、昨年度の利用者講習会のビデオをWebで公開中ですので、ぜひとも一度ご覧ください。

URLは、http://www.center.osaka-u.ac.jp/user-service/seminarで、Real Playerが必要です。

(3) 新システム，新構想について

平成１２年度導入を目指して新しいスーパーコンピュータ導入の検討が開始されています。また本センター運営委員会では、本センター、情報処理教育センター、図書館の３つの機関を連携し、先端的情報処理技術のための教育、研究、および情報発信を行う中核的拠点として大阪大学サイバーメディアセンター（仮称）を新設することを平成１２年度新規概算要求とすることが決議されています。

今後とも、ユーザの方々をはじめ関係各位から本センター及び本教育広報委員会への一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。